

## 第2学年1組 生活科学習指導案

令和6年7月2日(火) 5校時

児童数

指導者

### 1 単元名 「どきどき わくわく まちたんけん」(12時間)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態について

本学級の児童は、前期に「校でいて春をさがそう」において、校庭周辺の花壇やわんぱく山などに生えている花や、その周りにいる生き物たちを観察し、観察カードに書き出す活動を行った。その際、自分の見つけた花や生き物の様子を「きれいだった」「赤色だった」などと簡単に表現することはできるが、「何がどうきれいだったか」というように文章にまとめることが難しい児童が多かった。他の授業においても、「～は何ですか。」という質問に対し「○○です。」と答えることはできるが、「～が…なのはなぜですか。」という問いに対して「～が…したから」というように、自分の考えを簡潔にまとめて答えることをやや苦手に行っている様子も見られた。また、グループ活動を行う際、友達の発表を、何も考えずに聞いている子が多く、他者の意見を自分の考えに生かしたり、他者の意見に対して自分なりの意見をもったりすることができる児童は多くない。

#### (2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、学習指導要領の内容(3)「地域と生活」を受けて設定したものである。地域探検をしたり、発見したことや気付いたことを話し合ったりして、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付き、それらに親しみや愛着をもち、安全に楽しく生活できるようにすることをねらいとしており、「まちのことを話そう」「たんけんの計画を立てよう」「まちをたんけんしよう」「見つけたことをつたえ合おう」の4つの小単元で構成されている。

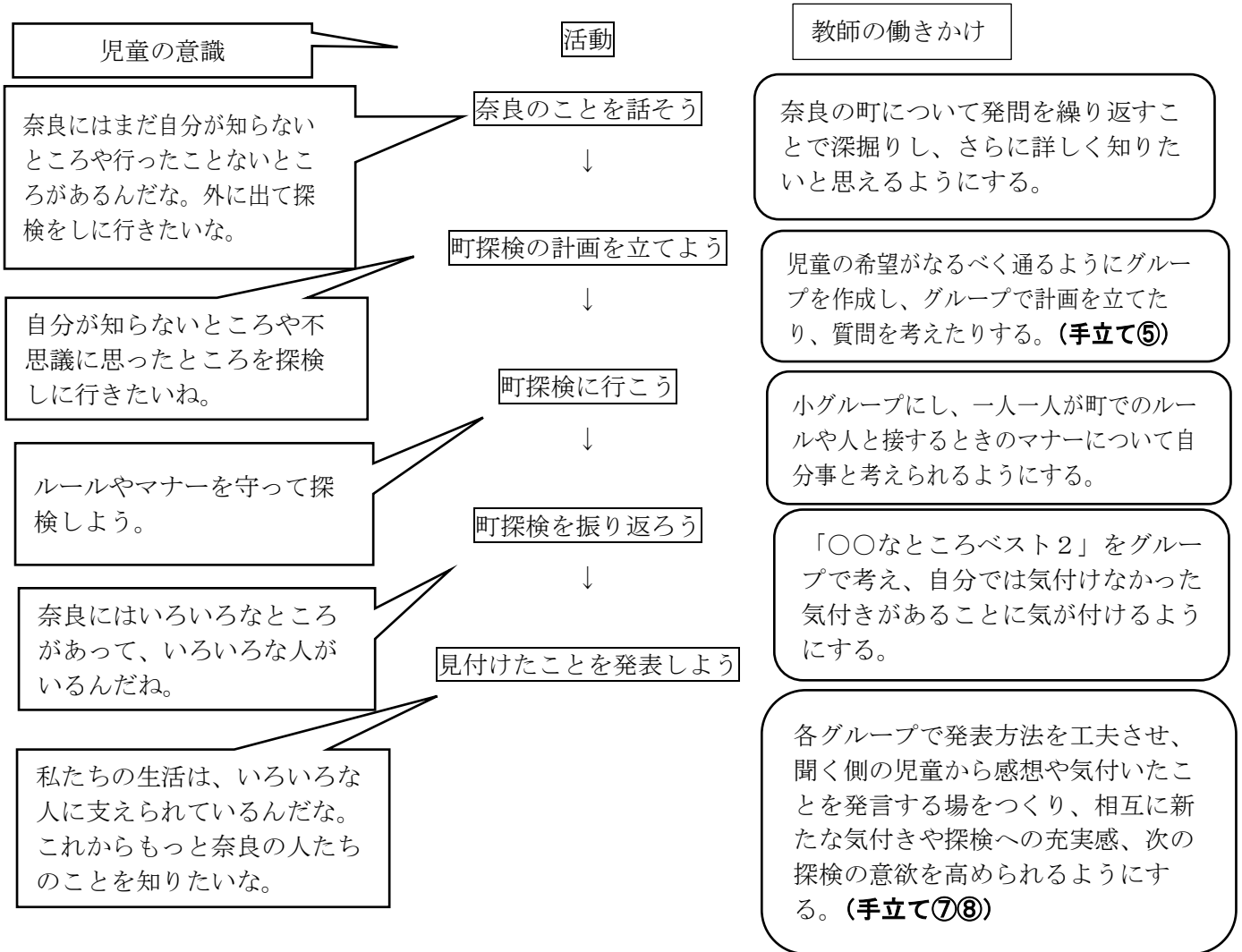
「まちのことを話そう」では、事前に各自が調べてきた「おすすめの場所」「自慢の場所」「不思議に思っている場所」を伝え合う活動を行う。友達が紹介する場所を自分は知っているのか、知らないのかを考えながら聞くように促す。また、知っている場所については、「何をしているところなの。」「どんなものを売っているの。」など、具体的な質問をし、地域の様々な場所に「行ってみたい」「調べてみたい」という気持ちを高められるようにする。

「たんけんの計画を立てよう」では、児童の希望を基に探検のグループを作成し、児童の思いや願いを大切に探検ができるようにする。児童の希望をとる際は、行きたい理由を書くように促し、一人一人が目的を明確化できるようにする。また、グループの中でそれぞれの役割を決めたり、探検におけるルールやマナーを決めたりし、児童が探検に対して自分事として捉え、責任感をもって取り組めるようにする。

「まちをたんけんしよう」では、事前にグループで考えた計画を基に、探検のルールやマナーを守って行動したり、探検先の地域の人に質問し、答えに対してさらに自分の聞きたいことを聞いたりに促す。2年生での初めての町探検は、児童にとって心に残るものであるため、学校に戻ってきて、口々に語る児童一人一人の思いに寄り添いたい。

「見つけたことをつたえ合おう」では、町探検で得た情報や気付きをグループで話し合い、発表することを通して、対話的で深い学びにつながるようにしたい。町探検で気付いたことを付箋に書き出すことで自己の気付きや体験を言語化し、一人一人が思いや考えをもって話し合いに臨めるようにする。その思いや考えを基に、「○○ところベスト2」をグループで話し合うことで、楽しく話し合いができるようにしたい。その際は、考えを伝えることが苦手な児童も楽しく主体的に取り組めるよう、話型を示して、自分の伝えたいことを伝えられるよう支援する。また、聞く力を高めるために、友達の発表を聞く際は視点を示し、目的をもって友達の話を聞くことができるようにしていく。このような交流を通して、奈良の地域や人々の生活、そして、それらと自分の生活について新たな気付きが生まれるように指導していきたい。

(3) 児童の意識の流れ



### 3 研究主題との関わり

本校の研究主題は、「互いに認め合う学級風土を土台とした対話する力の育成」である。児童が生きるこれからの社会では、答えのない問いに対して、多様な立場の者が議論し、納得解を生み出していくことが求められる。その過程で、他者との対話（コミュニケーション）は必要不可欠であり、他者と好ましく対話する力は、人生を豊かなものにするための基盤となると考える。

そこで本校では、話すこと・聞くことを中心とした「対話する力」に重点を置いた学級風土づくりと授業改善を行うことで、児童が主体的に自分の考えを表現し、対話を通して考えを深めたり高めたりしていけるよう、研究に取り組んでいく。

## 互いに認め合う学級風土を土台とした対話する力の育成 ～学級経営と話す・聞く活動の充実を通して～

### 【本単元で目指す児童像】

考えを交流するときに、伝えたいことや聞きたいことを明らかにして、具体的にわかりやすく話したり、目的をもって聞いたりすることができる児童

### 【仮説2】

児童の発達段階に応じて、話す・聞く活動を工夫すれば、考えを高めたり深めたりするための対話する力が身に付くであろう。

### 【仮説2における本単元での手立て】

- ④「聞く木」等を活用して聞く視点を示し、目的をもって友達の話聞くことができるようにする。
- ⑤児童の思いを大切にしたい質問事項を考えられるように行き先の選定やグルーピングを工夫し、意欲的にインタビューができるようにする。
- ⑥司会の台本や話し合いを盛り上げる言葉を活用して、児童が主体的に伝え合う活動ができるようにする。
- ⑦わかったことや見つけたことを視覚的に整理して新たに気付きにつながるように、付箋やICT機器を活用した交流を行う。（全体交流も含む。）
- ⑧単元の学習前後で、自分の考えや思いが変わったことに気付くことができるようにする。

### 【仮説1】

児童一人一人を大切にしたい学級経営を工夫すれば、互いに認め合い、自分の考えを主体的に表現し合えるであろう。

### 【仮説1における本単元での手立て】

- ①児童が安心して自分の考えを表現できるように、気持ちに寄り添ったり、肯定的な声掛けをしたりする。
- ②児童の発言に対して、教師が肯定的に受け答えたり言い換えたりして、発言者が安心できる雰囲気をつくる。
- ③友達の発言に対する好ましい反応（返事をする、うなずく、質問する等）を指導し、発言者が安心できる雰囲気をつくる。

#### 4 単元の見目標

町探検を通して、地域の場所と自分との関わり気付くとともに、地域の様々な場所や人について知ること、地域に親しみをもったり、安全に気を付けて生活したりしようとするができるようにする。

#### 5 単元の評価規準と小単元の評価規準（12時間扱い）

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、様々な場所があり、様々な人がいることに気付いている。	地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。	地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。
小単元の評価規準	1 まちのことを話そう（1）	①地域には、自分の知っている場所やまだ知らない場所など、いろいろな場所があることに気付いている。		
	2 たんけんの計画を立てよう（4）	②ルールやマナーを守ることで、安全で楽しい探検ができることが分かっている。	①行ってみたい場所や見てみたいものを思い描きながら、探検の計画を考えている。	①友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を調整したり、順番を変えたりしようとしている。
	3 まちをたんけんしよう（3）	③安全やマナーに気を付け、様々な場所を訪問したり利用したりし、様々な人がいることに気付いている。	②身近な地域の場所が、自分の生活と関わっていることに気付いている。	②見つけた物や場所について、自分の生活と結び付けながら、地域の人に質問したり、話したりしようとしている。
	4 見つけたことをつたえ合おう（4）	④身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分の生活を豊かにしていることに気付いている。	③身近な地域の場所と自分の生活との関わりについて考えている。	③身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に取り入れようとしている。

#### 6 指導と評価の計画

小単元名(時数)	主な学習活動	小単元の評価規準との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿（評価方法）
1 まちのことを話そう(1)	①自分が関心のある場所を伝え合う。(1)	知・技①	・友達や教師の話を聞いたり写真を見たりして、知っているところと知らないところがあることに気付いている。(タブレットPCの操作・つぶやき)
2 たんけんの計画を立てよう(4)	①写真や友達からの情報を基に、探検したい場所を決める。(1)	思・判・表①	・探検に行きたい場所について話したり、行きたい理由を書いたりしている。(発言・つぶやき) ・行ってみたい場所や見てみたいものを思い描きながら、探検の計画(探検する順番や通る道、役
	②グループごとに探検の計画	思・判・表①	

	を立てる。 (1)  ③探検の準備を する。(2)	態①  知・技②	割、持ち物、探検のルールやマナーなどを考 えている。(発言・つぶやき・計画表) ・友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に 応じて、探検する場所を調整したり、順番を変 えたりしようとしている。(発言・つぶやき・ 計画表) ・探検のルール・マナーを守ること、安全で楽 しい探検ができることに気付いている。(発言・ つぶやき・計画表) ・探検に必要な物を考え、準備している。(発言・ つぶやき・行動)
3 まちをたん けんしよう (3)	①町探検をす る。(3)	知・技③  思・判・表②  態②	・安全やマナーに気を付けている。(行動) ・様々な場所を訪問したり利用したりし、様々な人 がいることに気付いている。(つぶやき・行動・ 記録カード) ・身近な地域の場所が、自分の生活と関わって いることに気付いている。(つぶやき・記録カー ド) ・見つけた物や場所について、自分の生活と結び 付けながら、地域の人に質問したり話したりし ようとしている。(発言・行動)
4 見つけたこ とをつたえ合 おう(4)	①気付いたこと や思ったこと を付箋に書 く。(1) ②伝えたいこと を整理する。 (1) ③見つけたこと を発表する。 (2)	知・技④  態③  思・判・表③	・身近な地域には自分たちの生活と関わっている 場所がたくさんあり、それらが自分の生活をよ りよくしたり住みやすくしたりしていることに気 付いている。(つぶやき・記録カード) ・身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる 場所があることを実感し、それらを自分の生活 に取り入れようとしている。(つぶやき・付箋) ・身近な地域の場所と自分の生活との関わりにつ いて考えている。(つぶやき・発表・振り返りカ ード)

## 7 本時の学習指導（10/12時間）

### (1) ねらい

町探検で見つけたことや分かったことをグループで話し合う活動を通して、伝えたいことを選ぶことができる。  
(思考力・判断力・表現力等)

### (2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て）◎評価 ★話す・聞く活動の工夫	時間
1 本時の課題を確認する。		○前時までの活動を想起することで、本時の活動への意欲を高められるようにする。	2
	「○○ところ ベスト2」をきめよう		
2 テーマの例を示し、見通しをもつ。		○テーマが決めやすいように児童から出てきそうな言葉をあらかじめ準備する。 ○短冊を用意し、子どもたちから出た言葉をすぐに黒板に掲示できるようにする。	5
	おもしろい おどろき ドキドキ ワクワク もう一回行ってみたい 初めて知ったことが多かった		
3 グループで話し合い、			25

<p>「〇〇ところベスト2」を決める。</p> <p>(1) テーマの例の中から自分たちが選びやすそうなテーマを選ぶ。</p> <p>(2) テーマに沿って、自分の付箋の中から伝えたいことを2つ選び、グループの中で発表する。</p> <p>(3) 似ているところや共通点を探し、ベスト2を決める。</p> <p>(4) 自分の付箋の中から、テーマに沿ったものをさらに出す。</p> <p>(5) 何をどんな順番で話すのかを決め、さらに詳しい内容を付箋に付け足す。</p> <p>4 自分たちのグループの予告を考える。</p>	<p>【予想される児童の反応】 〔おどろきの場合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、JAを入れたいです。なぜなら、一日にたくさんの方が来ていて驚いたからです。</li> <li>・僕もJAで驚いたことがあったから、JAは入れようか。</li> <li>・場所は違うけど、この二つは両方とも人の多さに驚いてるね。</li> <li>・実は、JAで驚いたことがもう一つあったよ。これも入れたいな。</li> <li>・私たちの班は、おどろいたところベスト2を発表します。なぜなら、私たちの班は、驚いたことが多かつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見付けたことを前時に付箋に書かせておくことで、伝えたいことを選びやすくする。</li> <li>○司会者の話型を用意し、グループ活動がスムーズに行えるようにする。 <b>(手立て⑥)</b></li> </ul> <p><b>★話し方の話型を示し、必要に応じて活用できるようにする。(手立て⑥)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【話し方の話型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、〇〇(場所)を入れたいです。</li> <li>・なぜなら、～だからです。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎町探検で見付けたことや分かったことをグループで話し合う活動を通して、伝えたいことを選んでいく。(思考・判断・表現)【ワークシートへの記述】</li> <li>○似ているところなどに線を引いたり、線で囲ったりすると分かりやすくなることを伝える。</li> </ul> <p><b>★「聞く木」を活用して聞く視点を示し、自分の考えと同じところ(似ているところ)と違うところに気付けるようにする。(手立て④)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の持っている付箋の中に、テーマに沿っているものがあればそれも出していいことを伝える。</li> <li>○順番を決める際に分かりやすくするために、ステップチャートを使用する。 <b>(手立て⑦)</b></li> <li>○探検で書いてきたメモを見て、さらに詳しい内容を付け足す。</li> <li>○聞き手の期待が高まるような一言を添えるように促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【発表の話型】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの班は、〇〇ベスト2を発表する予定です。</li> <li>・なぜなら、～だからです。 (期待が高まるような一言を添える)</li> </ul> </div>	<p>10</p>
--	--	--	-----------

5 振り返りをする。	たからです。 発表をお楽しみに！	○本時の学習活動を振り返り、この時間にできたことを実感できるようにする。	2
6 次時の予告をする。		○次時の活動を予告し、児童が見通しをもち意欲が高まるようにする。	1

## 8 板書計画

「〇〇ところ ベスト2」をきめよう

しかい

「これから、〇〇の話し合いをはじめます。  
「おねがいします。」

①「まず、しよきさんおねがいます。」  
「ありがとうございました。」

②「つぎに、はっぴょうしゃさんおねがいます。」  
「ありがとうございました。」

③「さいごに、じぶんが話します。」  
「では、3人のいけんをまとめます。」

探検先の  
写真

① 〇〇のことばをきめる。

② 〇〇にピッタリなふせんをさがして、2つはっぴょうする。

③ 同じところ・にしているところを見付けて、ベスト2をえらぶ。

④ さらにふせんを出す。

⑤ えらんだばしょについて、くわしく話せるようにする。

※電子黒板に表示する。